

10月号

ひだまり

わかくさこども園



2023.10.2



がんばるおしり

(2023.9.28)



上を目指してのぼる、のぼる。

足のうら、ひざ、二つの手、からだぜんぶを使って。

おしりをまっくろにしながら、サルスベリのある頂上まで、あともう少し。

📅 10月の予定

【幼稚園・休み】

23日（月）運動会振替休み

5日（木）秋の歯科検診

11日（水）おいもほり（幼児クラス）

12日（木）避難訓練

21日（土）運動会

31日（火）ハロウィン

なんでもない日の、子どもたちのこと

わかくさの今とこれから。子どもたちのことを思いつくまに。

園長 習田 和正



本物に魅せられて

夏の終わりを今か今かと待っていた9月でしたが、いつの間にか空気もひんやりとしてきました。8月から咲き始めた園庭のサルスベリの花は変わらず満開で、花びら集めにも精が出る子どもたち。サルスベリの別名は「百日紅（ひゃくじっこう）」。その名の通り、初夏から秋までの長い間、紅の花を見せてくれます。これから、毎年の楽しみになりそうです。



時間は少し遡りますが、8月の終わりの夕涼み会の日のこと。午前中に乳児さんが夏祭り体験の一つとして、手作りの山車を引っ張って園内を練り歩くということがありました。それを食い入るように見ていたのは、幼児さんたち。「自分たちもやりたい!」と、何人かから声が上がり、興味のある子たちで「おみこし」を作ってみるようになりました。

さて、どうやって作ろうか。できれば本物を見てみたいけど、それは少し難しいので、本物のおみこしの写真をいくつか印刷し、みんなで見てみることにしました。よく見てみると、おみこしには持つところがあって、キラキラした飾りも付いている。そんな細かいところも観察しながら、折り紙やテープ、廃材を使って、それぞれのおみこしのイメージを形にしていきます。



こうしてできた、立派なおみこし。初めはふじ組の数人で始まったことでしたが、完成する頃には、他の子やももはなの子どもたちも加わって、縁側からは賑やかなワッショイが聞こえてきました。



時を同じくしてみそら組では、何やら面白そうな会議中。話していたのは「魚」のことでした。夏休み中に水族館に行った友だちの話から魚の話が盛り上がり、みんなで本物の魚を見に行くことになりました。場所は、手賀沼沿いにある水の館。淡水魚の観察ができる場所です。





帰ってきてから、子どもたちの興味は「作ること」に変わりました。水の館で見た魚を思い出しながら、段ボールや紙をハサミでちょきちょき。その意欲は、園のランチホールに手作り水族館を作ってしまうほどです（ぜひのぞいてみてください）。



集中して取り組む子どもたちを動かすのは、本物への「あこがれ」。自分たちがすごいと思うことには、大人の方も振り返らずにとことんやってみる。頼もしい背中の子もたちです。

子どもと自然



今年、子育て環境に自然を取り入れることを推進する新しい取り組みが千葉県で始まりました。それが「千葉県自然環境保育認証制

度」です。これは、一定の基準のもと、自然を保育に活用している園を県が認定する制度なのですが、この度わかくさこども園が、この制度の認定園（重点型）に選ばれました。

有難いことに、わかくさは土地柄、地域からたくさんの自然の恵みをいただいている園です。森や公園で子どもたちと自然物を収穫したり、菜園で野菜やお花を育てたり、田んぼに遊びに行ったり。都市部や駅前など周囲に自然が少ない園も増えてきている今、私たちは日常的に自然に触れることのできる、とても恵まれた環境にあるのかもしれない。

春の花、バッタやとんぼ、どんぐりやまつぼっくり、水と土、雪や霜柱。どれもわかくさの子どもたちが大好きなものたち。子どもは、さわったり、においをかいだりして自然と出会い、捕まえたり、集めたり、観察したりして遊びます。時には、予期せぬ自然の不思議に出会い、目を丸くして驚くことも。そんなキラキラした顔を見ていると、子どもたちが自然との関わりの中で得ているものは、大人の想像を超えて、大きく尊いものなのかもしれないと感じます。

認定園とはなりましたが、園として何か特別なことを始めるわけではありません。これまで通り、子どもたちの興味に共感しながら、毎日一緒に自然の楽しさや不思議さを見つけていきたい。認定とともに、私たちが大切にしたいと思っていることを改めて振り返る機会をいただきました。

保健だより

○10月10日は目を大事にしよう「目の愛護デー」



目は、生後すぐはぼんやりとしか見えていませんが、1歳までの時期に急速に「見る力」が発達します。3歳までには、多くの子どもが大人とほぼ同じ程度まで見えるようになります。子どもは視力が悪いことを自覚できないため、以下の症状があれば早めに眼科に相談しましょう。

～こんなときは心配です～

目を細めて見る 片目で見ると 顔を傾けて見る
まぶしがかる いつも涙ぐんでいる まぶたが下がっている



また、目は外の世界と直に接しているため、傷つきやすい部位です。大切な目を守るため、正しいケアを知っておきましょう。

～おすすめのケア方法～

- ・前髪が長いと、毛先が目に入って目に傷をつけたり、炎症を起こしたりするものになります。前髪は短めに切りそろえるか、結んであげましょう。
- ・目やにを拭く際は、清潔なタオルや清浄綿を当て、そのまま外側に拭き取りましょう。
- ・目やには自然に出るものですが、目やにの量がいつもより増えた、2～3時間で目やにがたまる、黄色や緑色の目やにが出ているなどのときは炎症が起こっている可能性があります。早めに小児科か眼科を受診しましょう。

○予防接種について



今年は新型コロナとインフルエンザの同時流行が懸念され、市内の保育園や小学校等でも集団発生が認められています。特に今年はインフルエンザが猛威をふるっており、夏でも感染する子がいるほど、通年感染のウイルスになりつつあります。重症化を防ぐためには、早い段階でのインフルエンザワクチン接種がおすすめです。

また、インフルエンザに関わらず、ワクチン接種は時期が決まっているものが多く、それを逃すと自費で接種しなければならなくなるものもあります。行政からのお知らせが来ましたら、かかりつけの病院にも確認しながら、定められた期間内に予防接種を済ませられるように進めましょう。

また、予防接種を受けた時は、担任または看護師までお知らせください。



看護師・藤井 佑季



10月 保健の予定

17日 (火)	ふじ・みそら	身体測定
18日 (水)	ももはな	身体測定
19日 (木)	こむぎ・ゆずは	身体測定

わかかさこども園

wakakusa kodomoen